



■ 対馬市長 財部 能成

こんにちは。長崎県対馬市から参りました対馬市長の財部（たからべ）と申します。対馬といいますと九州の一番北端にあります。韓国に最も近い島です。面積709平方キロという広大な島なんですけれども709平方キロのうち約89%が森林でありましてこの森林面積、700かけることの0.9で630、630平方キロといいますと東京23区が確か620ちょっとぐらいだったと思います。東京23区全部が森だ、という風に考えていただければいいと、その中に人は住んでなくて、当然宅地に住んでおりますので、その中に住んでいるのは、猪と鹿と、そしてツシマヤマネコ、天然記念物の、これらがゆったりとのんびりと生活をしていると。その脇で私ども人間が島の周辺部に住んでいる、という風にイメージをいただければ結構かと思っております。私ども今、まともな日本地図といいますか、これ地図を出しておりますけれども、日頃いつもみんな考えてるのはユーラシア大陸を下にもって行って、そして、日本を上を持ってく、っていう姿の地図をいつも眺めてます。要するに太平洋側って言うものは当然、交流というもの、大陸との交流というものは以前は疎遠であったはずですし、私ども日本海側というがこの日本って言う国土を形成するに

当たって大切な役割を担ってきたということをきちんと職員も市民も理解していこうとそれが自分達のアイデンティティじゃないのかということですのでそういう地図を常に見続けております。ツシマヤマネコっていう猫ですが、天然記念物で、先ほど言いました630ぐらいの山の中に推定ですが80頭から110頭いるといわれています。こいつがもっとも対馬では有名です。日本全国では、なかなか会えません。捕獲した猫、そして病気にかかった猫を皆様方には、お越しになった際は窓越しに見ることができるという風な状況です。次に職員が描いてくれた絵ですが、私、実は8年目なんです、1年目からこんな絵でした。この絵に近づくために一生懸命横に大きくなろうと思って努力をした結果、今こういう形になったという風に理解してください。韓国に近いということ、そして歴史的ないろんなことがあるということで、実は江戸時代皆様よくご存知の、ここは福井ですから秀吉だ、信長だ、いろんな人達が関わりがってますが、秀吉が朝鮮半島に攻め入れということで命令が出て朝鮮半島に攻め入る、その時の先陣を切るのは対馬です。そして秀吉が亡くなり、家康が江戸幕府を開府する。そうなる朝鮮半島と今度仲良くしろっていう、この相談に行けって言われて、それも対馬が行く。一番最初に攻め入って、次仲良くするために、懐柔に行けって言われて、うちのお侍さんは何人か、向こうに行って殺されてます。しかし1607年に実は、やはり仲良くしようかということで朝鮮通信士っていう方達が江戸まで登城し、そして、将軍が変わった時に挨拶に来るっていう行列がずっと江戸時代に12回あります。

その行列を今もって再現をしているっていう風なものもございます。あとはマラソン大会なんか、国境地域っていうことで、国境マラソンっていうのをやっております、わずか1400名くらいしか参加しませんが、今島外の人が700名以上参加してやっと50%以上の人が島外の人になったねって言ってみんな喜んでございます。そうでした、これは港湾の会議でした。私どものところには明治時代に開港、外に向かってですね、開いていったオープンポートの巖原（いずはら）港っていう港があります。この巖原港が、私どもは島です、今こちらにいらっしゃるそれぞれの市は、日本の本土側でございますが、私どもはもっぱら島です。島にとってはやはり港というのは観光ということのみならず物流ということ、すごく大切な命綱です。空港もございますけれども空港はいかんせん1900mしかありませんので、120名ぐらいのジェット機しか来ません。そう考えますと港で大量に輸送してくれる人流物流を運んでくれる港というものの大切さを私どもは常に考えております。そういう意味において巖原港と、一番北にある、比田勝（ひたかつ）港の改修というものをすごく国に対して求めていっているところでございます。実を申しますと先ほどこの会

議に毎年出てるかという質問が控え室でありました。毎年出てますって言いました。私らにとっては命綱です、港というのが。そういう意味においてこれからも港に対する予算というものがどうしても必要です。強靱化とかレジリエンスとか何だかんだ言ってますが、予算が付かなければ始まらないのです、世の中。手作業じゃされんのです、ボランティアじゃ港湾は作れんのです。どうかそういう意味においてここにいらっしゃる皆様方が港湾の予算等がしっかりとつけていただけるようにお力添えをいただければというように思っております。次に韓国に近いということで韓国人の観光客が今年おそらく20万人、CIQがありますので実数は間違いありませんが、20万人来てます。一気に来たもんですからいろんな軋轢が起こったり、いろんなことが起こります。文化も違います。しかし外に開かれた港を持っている以上はいろんなことが起ころうとも受け入れながらも自分達の島を、対馬らしくしていくということに今一生懸命取り組んでいるところであります。

そういうことで、長崎県の対馬から参りました。何か機会がありましたら対馬まで足を運んでいただきたいと思っております。福井の方、よろしく。私ちなみに今月2回も福井に来ております。すごいついていう声が出るかなと思ったんですが、申し訳ございません。あの、47都道府県で今8年目ですが、こういう職について。45県目でした。申し訳ございません、大変遅くなりました。また機会があろうかと思っておりますので、たびたび福井にも足を運びたいと思っております。長崎県の対馬市からでした。よろしく申し上げます。